

2024（令和6）年度

第34回 こうさい療育・支援セミナー

公益財団法人 鉄道弘済会

総合福祉センター 弘 済 学 園

療育・支援の紹介

～人生を豊かにするための療育・支援～



弘済学園

福祉研究員 大倉 由寛

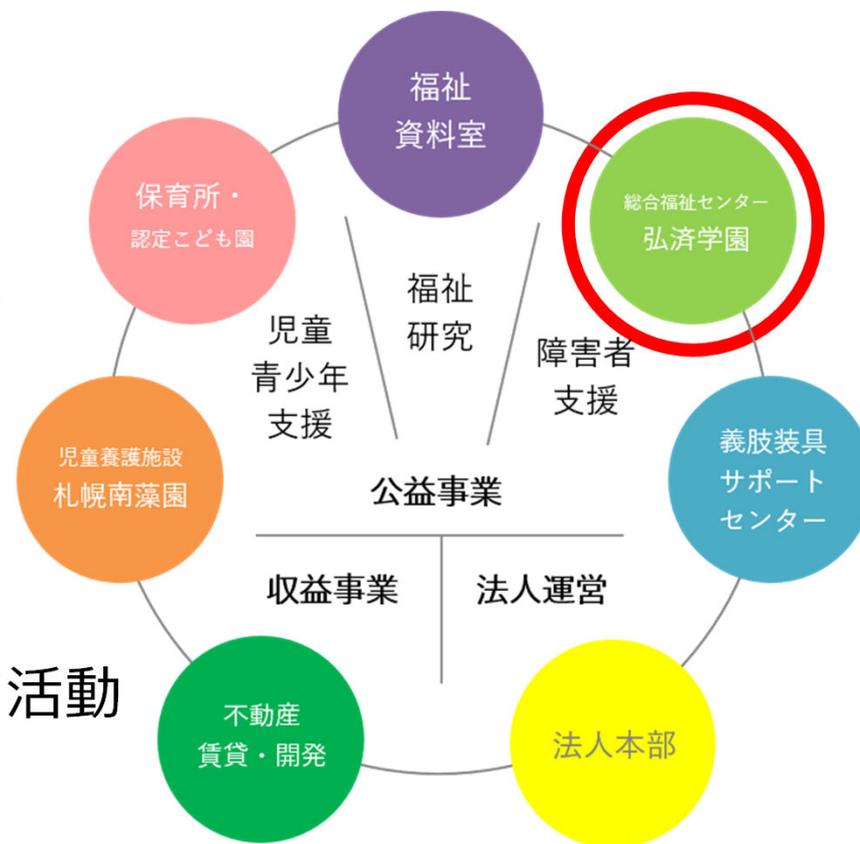
1. 公益財団法人 鉄道弘済会について

◆ 国鉄（現JR）がルーツの公益財団法人

…鉄道の業務に従事し不慮の事故により
身体に障害を負った方々等を援護する
ことを目的として設立

◆ 「自立型」の経営スタイル

…不動産事業の収益を福祉事業に充てて活動
安定的な収益基盤



→ 手厚い福祉サービスの提供、従業員の労働条件の充実

「義肢装具サポートセンター」

- 身体障害者福祉施設（荒川区：南千住駅前）
- 義肢／装具の製作から、装着訓練、機能回復訓練、更生相談までを入所設備を備えてサービス提供する民間では国内唯一の総合的リハビリテーション施設
- スポーツ義足の開発協力・製作、切断障害者のアスリート活動を支援



「保育所・認定こども園」

全国に24か所の認可保育所（10）・認定こども園（14）

- ・北海道：札幌市・函館市・旭川市・釧路市
- ・東北：青森（青森市）・宮城（仙台市）・秋田（秋田市）・山形（山形市）・福島（郡山市）
- ・関東：群馬（高崎市）・埼玉（さいたま市中央区・さいたま市浦和区・戸田市）・東京（荒川区）
- ・中部：新潟（新潟市）・長野（長野市）・富山（富山市）・福井（福井市）
- ・近畿：京都（福知山市）・和歌山（和歌山市）
- ・中国：島根（松江市）
- ・四国：香川（高松市）・愛媛（西条市）
- ・九州：福岡（北九州市門司・北九州市戸畑）



「札幌南藻園」

- 児童養護施設・定員48名
- 成長期にある児童を家庭的な雰囲気の中で養育
- 早期家庭復帰を支援
- 心身ともに健全な社会人となるよう、自立を支援



2. 弘済学園について



施設の風景

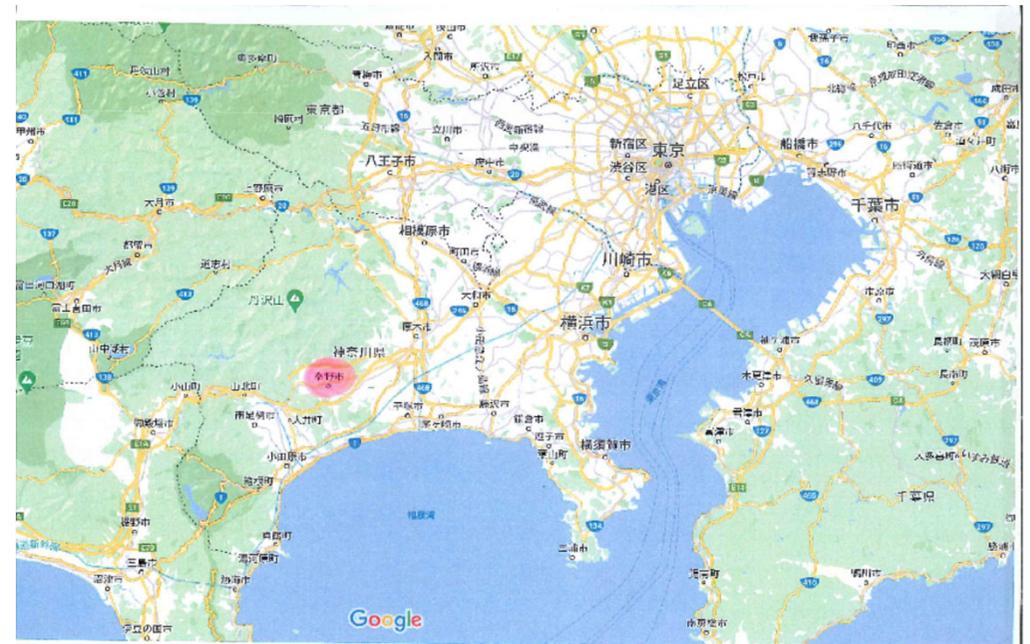
所在地 : 神奈川県 秦野市

人口 : 約16万人

名産品 : 蕎麦・落花生・地酒

名水百選 : 全国第1位を獲得

 小田急線 東海大学前駅 徒歩15分



地図データ ©2020 10 km



1) 入所支援



児童寮



(福祉型障害児入所施設)

80名（神奈川55名・東京25名）

県内の福祉型児童入所施設の中では、一番定員の多い入所施設

30名（神奈川県籍児童のみ）

第二児童寮



体 育 館



プ ー ル



2) 地域生活支援



児童発達支援センター「すきっぴ」 (定員30名)

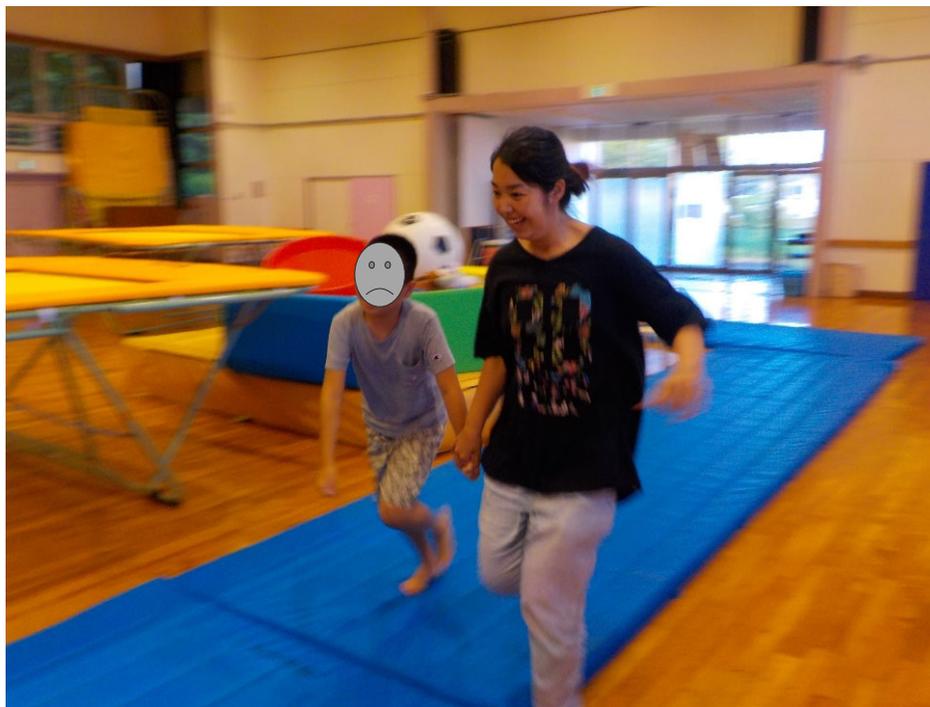
「単独通園」つき組／ほし組 (各10名：月～金 9～14時)

「親子通園」にじ組 (10名：月～金 10～13時)



放課後等デイサービス「わくわく」

- 小学生～高校生（一日10名）
- 平日の14時～18時まで。土曜日は午前から開所。
- 保育所等訪問支援事業／障害児相談支援事業



デイケアセンター（定員30名）

生活介護（15名:園芸作業 花苗）

就労継続支援B型（15名:園芸作業 花苗・丹沢ハーブ）



グループホーム

- ・ 夢ハウス（4名）：JR東日本環境アクセス 弘済学園事業所 社員
- ・ 咲楽ホーム（5名）：デイケアセンター 利用者



3) 入所利用者の特徴



2025年2月現在

- 入所者：106名（男子名92／女子14名）
- 平均年齢：男子14歳　　女子14歳
（最年少4歳／最年長31歳）

未就学児	小学生	中学生	高校生年齢	18歳以上
8名	31名	27名	29名	11名

① 「知的障害の重い方が多い」

最重度	重度	中度	軽度	未取得等
33%	33%	19.8%	11.3%	2.8%

② 「自閉スペクトラム症を併せ持っている方が多い」

男子	女子	平均
84.8%	78.6%	84%

③ 「契約入所の方が多い」

措置入所	契約入所
30.2%	61%



4) 支援の5つの特徴

～よりよい育ちのために～



① 学校と施設が協働して日中を支援



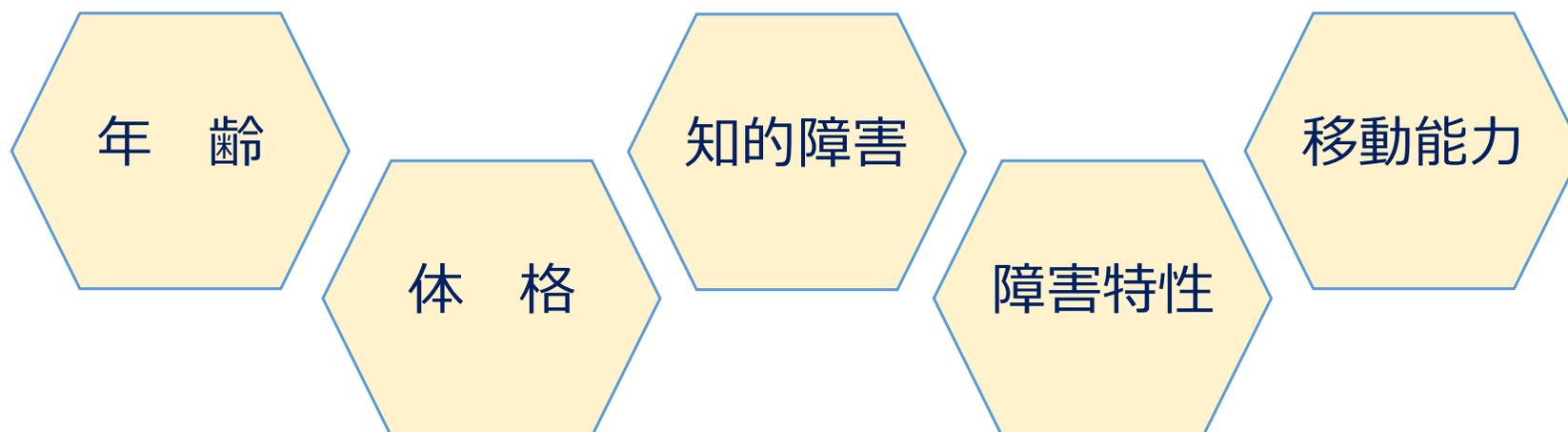
■生活クラス（家庭の役割） 生活の基本的なリズム、ADLの習得

■日課クラス（学校の役割） 学校の教員と一緒にクラスを運営

- ・ 1983（昭和58）年より施設訪問教育
- ・ 障害の重い利用者に情緒安定と持てる力を発揮できる環境を提供

24時間 連携のとれた支援体制

② クラス編成の仕方



- 8名程度の近似値集団で形成、効果的支援が可能
- 生活クラスは男女別編成、日課クラスは男女混合

③ クラス担任制

■生活クラス：3名のチームで一つのクラスを1年間担当

- ・ 平日：早番1名、遅番1名、休日1名をローテーション
- ・ 週末：早番1名、遅番1名、日勤1名で日中支援を展開

■日課クラス：1名で一つのクラスを1年間担当

- ・ 平日：9：00～17：25勤務
- ・ 週末：休日（土曜の出勤日あり）

関わる人が
一定

不安
少なく

職員の心情洞察
も的確

安心
信頼関係

④ 家族支援の充実

【来園の機会が多い】

- ▶ 毎週末の面会、父母の会（毎月、年5回の日課参観あり）、誕生会
- ▶ 夏まつり、運動会、作品展（東京駅）、クリスマス会、クラス発表会
- ▶ 父母実習（日帰りや宿泊での我が子のクラスを参観）
- ▶ 親教室（クラス単位で開催）

【帰省期間】

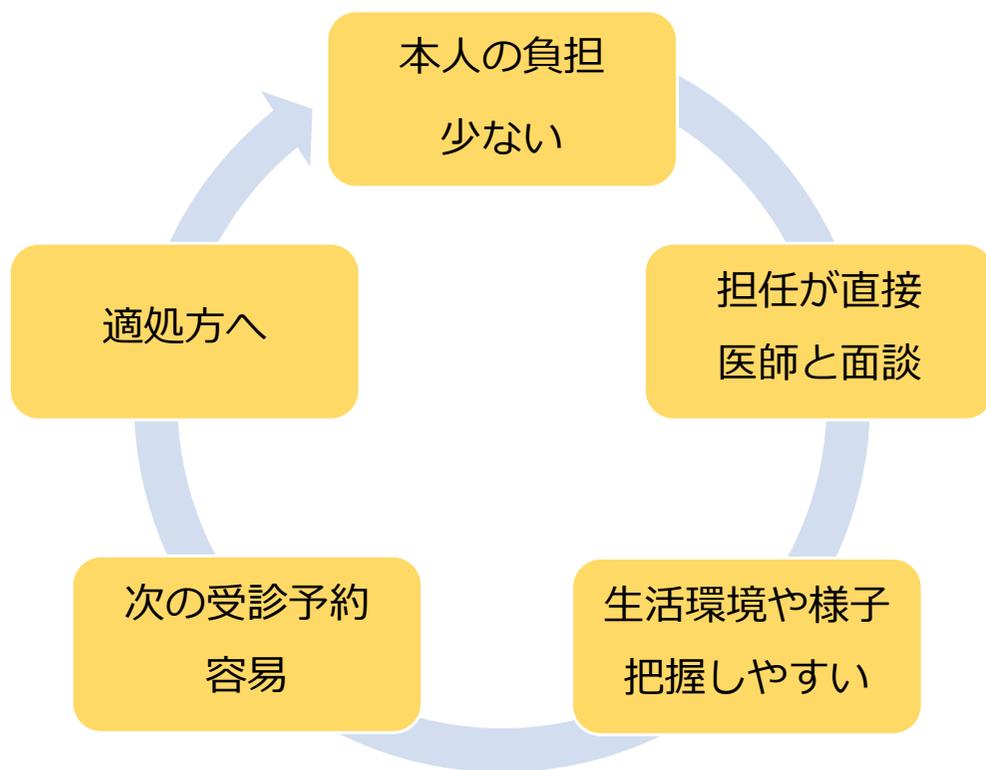
- ▶ 春休み／夏休み／冬休み＝各2週間
- ▶ 5月休み／10月休み＝各1週間

**お子さんとご家族の絆を深めて
みんなの元気を支えます！**

⑤ 精神科医療との連携

■弘済学園に附属診療所を併設

- ・ 北里大学と連携し、精神科医師が非常勤嘱託として週一回勤務
- ・ 入所児童の服薬相談、処方、調整



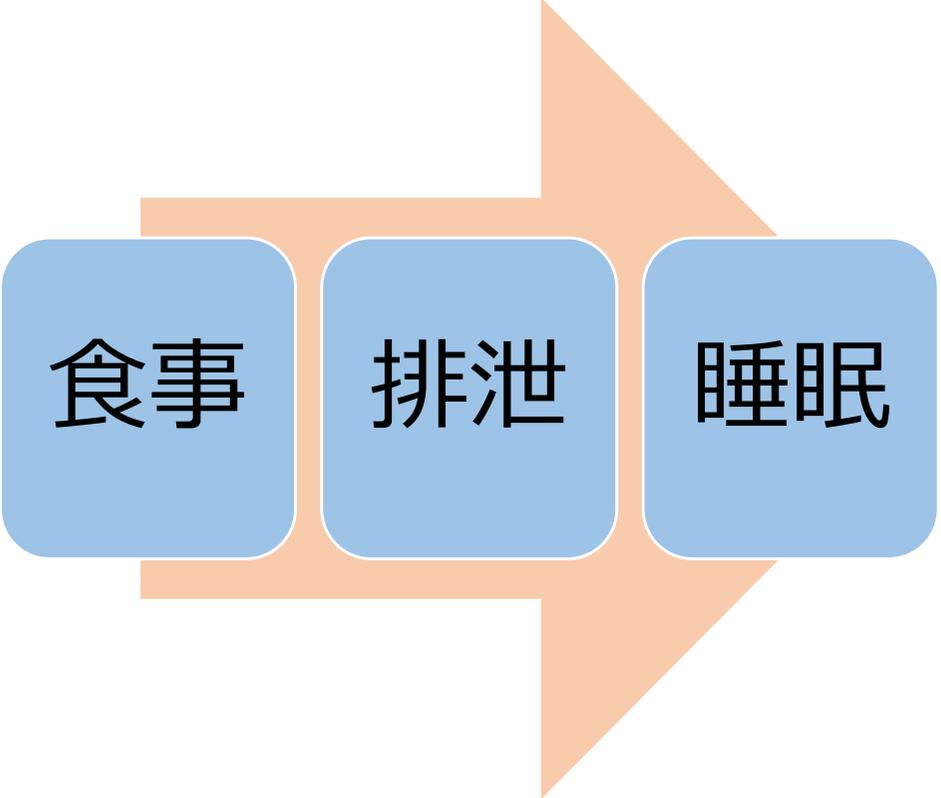
- ・ 衝動性や強迫性へのアプローチ
- ・ 睡眠を整える
- ・ てんかん治療

行動障害軽減の第一選択は行動の
アセスメントと支援のあり方から。
薬はあくまでも補助的な役割

5) 成長に欠かせない 4つの要素



① 生理的三原則の整え



食事

排泄

睡眠

- 快適な生活リズムの基本
- 課題の前に、ここに着目
- 三原則が整うと行動も改善

② グループダイナミクス（集団活用）

近似値集団（クラス）に所属する

・自分と似た利用者と一緒にいることで、仲間を意識できる。

・クラスが1年間固定しているので、関わる支援者と利用者が限定されて明確。

各場面を一緒に行動する

・行動のモデルが自然と示されることになり、やるべきことがわかりやすい。

・支援者からの個別の働きかけによる刺激過多、ストレスの軽減。

「待つ」時間

・耐性や調整力が向上しやすい。

・行動の調整能力が向上し、協調性も身につけやすい。

- 「わかる」から安心
- 「できる」から楽しい
- 「ほめられる」からうれしい

③ 構造化

- ・ 「人」 関わる職員を年間で固定して同じに
- ・ 「時間」 プログラムの順番を同じに
- ・ 「場所」 プログラムの取り組む場所を同じに
- ・ 「方法」 教え方や関わり方を統一して同じに



④ プログラムの組み立て方

「動」と「静」のリズムとバランスに配慮して
プログラムへの適応力や集中力を高めます

静かなタイプの利用者が多いクラス



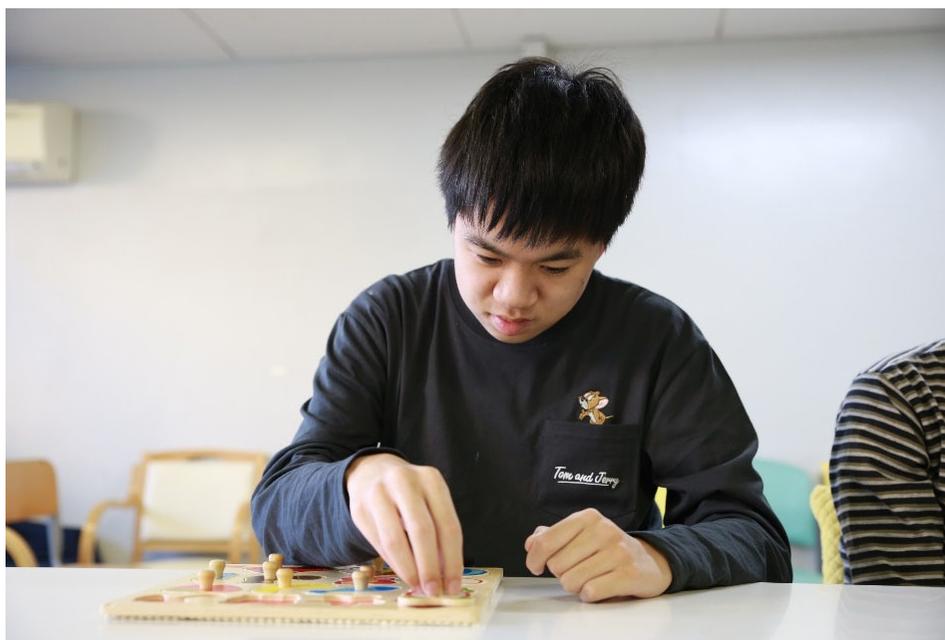
動くタイプの利用者が多いクラス



療育・支援の様子



6) 弘済学園が目指す 3つの目標



弘済学園の「3つの目標」



1. 能力内自立

ほかの人と比べない、その子の100点を目指す！

2. 円満な人格形成

集団生活を通して、協調性と心を育てます！

3. 「共感」「共育」「共生」

利用者も職員もリスペクト、一緒に成長します！



輝く笑顔

真剣な眼差し

みなぎる自信

利用者さん一人ひとりの健やかな成長を願って
より質の高い療育・支援を目指します！